



講師

山本 周平

信州大学医学部附属病院

司会： 宮田 一弘（茨城県立医療大学）

要旨

エビデンス創出と振り返りの双方に、臨床データベースの整備は不可欠である。日本循環器理学療法学会は J-Proof HF study にて全国 96 施設 9,403 例の高齢心不全を登録し、入院中の ADL 低下の発症率と予後の関係を報告した。また、長野県内では整形外科や脳卒中などの多領域に拡張した前向きデータベースを独自に構築し運用中である。データベースは重要である一方で、協力施設のメリットや入力負担など、働き方改革下で実装は容易ではない。本講演ではこのような障壁に対する解決案となる長野県モデルのご紹介と施設(自施設含む)への具体的還元を提示する。

略歴

職歴

2007 年 4 月 - 2013 年 3 月 北里大学病院, リハビリテーションセンター部
2013 年 4 月 - 2015 年 3 月 聖マリアンナ医科大学病院, リハビリテーション部
2015 年 4 月 - 2016 年 3 月 信州大学医学部附属病院, リハビリテーション部

学歴

2013 年 北里大学大学院, 医療系研究科感覚・統御医科学群, リハビリテーション科学博士課程
2013 年 - 2015 年 北里大学大学院, 医療系研究科, 研究員
2015 年 - 2019 年 国立成育医療研究センター, 政策科学研究部, 共同研究員
2018 年 4 月 - 信州大学, 医学部保健学科理学療法学, 委嘱講師

学術活動

長野県理学療法士会(研究推進部)、日本循環器理学療法学会(理事)、心不全療養指導士実務部会、など

業績

1. Yamamoto S, Okamura M, et al. Impact of Long-Term Exercise-Based Cardiac Rehabilitation in Patients With Chronic Heart Failure - A Systematic Review and Meta-Analysis. Circ J. 2024;88(9):1360-1371.
2. Yamamoto S, Yamasaki S, et al. Prevalence and prognostic impact of cognitive frailty in elderly patients with heart failure: sub-analysis of FRAGILE-HF. ESC Heart Fail. 2022;9(3):1574-1583.
3. Yamamoto S, Sakai Y, et al. Clinical Outcomes and Prevalence of Sarcopenia in Patients with Moderate to Severe COVID-19. J Clin Med. 2022;11(21):6578

など。その他、英論約 80 編、和文約 30 編、著書 7 編(共著含む)。

Researchmap: https://researchmap.jp/s_yama